

**多士洛々、若い会員も増え!**

●春日部地区浦高会・賀詞交歓会!

昨日の午後4時から「春日部地区浦高会・平成25年賀詞交歓会」でした。野鳥観察会から10名、会員スピーチと懇親会にはさらに18名の出席があり、合計28名で3時間強盛り上がりしました。

＊

◆会員スピーチ「逆境こそ好機」 竹内 透さん



私は、高校44回、昭和48年4月生まれで、今年40歳になる竹内 透と申します。大宮市大和田に生まれ、1年ちょっと前に豊春に住み

始め、リサイクルが進んでいることやクレヨンちゃん、ボクシングの内山チャンピオン、藤ちゃんカードと誇れるものがたくさんある街を好きになりました。【写真①：竹内さんは中央】

現在は社会保険労務士の仕事をしておりますが、私がこの仕事を目指そうとしたのは、父親が税理士をしており、その父親に依頼されたのがきっかけです。高校で部活や遊びを覚えて一浪し、慶應大学法学部に入ったものの道楽息子をしていたのですが、父が突然亡くなり失意のどん底に落ち込んでしまいました。生前、父から「社会保険労務士を取ってくれと嬉しいのだが…」と言われ、一度は挑戦したのですが惨敗。父亡きあとは、心に空白ができてしまい、受験も就職も駄目でした。そんな暗い生活の中で、浦高に遊びに行ったのがきっかけで塾講師の仕事に就くことができ、11年間講師として子ども達の勉強を指導することとなり、妻も長女もできました。

しかし、妹の疾病がきっかけで仕事を辞めて看病をすることになり、時間的な余裕ができましたが、収入の道がなくなり、まさに逆境。そんな時に、社会保険労務士の資格に再度挑戦するという気力が生まれ、生涯これほど勉強したことがないというくらいの勉強をして、7%の合格率を突破しました。

そして、現在の自分があります。会社を始めた当初はなかなか仕事をいただくことが出来なかったのですが、友人の奨めで久喜青年会議所に入り、仲間づくりから、ビジネスチャンスも少しずつ生まれてきています。春日部の地の利、ハローワーク、労働基準監督署、年金機構があることを生かし、電子申請をアピールし、フットワーク良く、皆様に私自身を知っていただきながら仕事をしてまいりますので、ご支援のほどよろしくお願ひいたします。

＊

会員スピーチに対しては、三輪会長から「青年会議所の活動は商売や人脈を伸ばし、自分の勉強にもなりますが、一つだけ気をつけなければいけないのは、楽しいあまり夢中になってしまうことです。その点だけは、青年会議所の先輩として苦言を呈しておきます。」とのことでした。

続いて、香田から地域職域同窓会責任者会議でも報告させていただいた「当地区の2012年の活動」、「春のイベント(浦高百年の森、春のバス小旅行『川越の春と歴史・文化を楽しむ』、春のゴルフコンペ)」について報告させていただきました。

鳥井副会長からは、11期同期会・辰巳会の皆さんがまとめられた古希記念誌「広き宇内にII ～新世紀からの十年～」についてご紹介がありました。

午後5時を過ぎ懇親会に入りました。三輪会長からのご挨拶です。【写真②：三輪会長】



◆三輪会長ご挨拶：皆様、本日は節分ですが、明けましておめでとうございます。昨日、地域職域同窓会責任者会議がございましたが、私共の春日部地区浦高会は若い方も多く、一番活動していると皆様方からお褒めをいただいております。これも会員の皆様のご協力の賜であり、心から感謝申し上げます。そして、昨日集まった19地域同窓会の中で、私と同じ15期生が5人会長を務めておりました。そういう意味では、まだまだ続けなければならないのだろうと思っております。これからも和やかにいろいろな行事を行ってまいりますので、どうぞ皆様のご協力をお願い申し上げます。

その後、歓談となり、途中で新会員の紹介が…。高校52期(平成12年卒)の林 亮平さん、春日部市役所総合政策部行政経営課に務める31歳の若者です。皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。最後は恒例の校歌斉唱では元応援団長の岩本利夫さん(22期)が指揮をとり、エールで締めました。



【写真③～⑥：校歌斉唱】